

压力容器定期自主検査記録

自 年 月 日
至 年 月 日

压力容器の種別 第一種压力容器 ・ 小型压力容器
※いずれかに○ 第二種压力容器 ・ 圧力気体保有容器

検査証番号 第.....号 (一圧の場合)
構造番号 (一圧・小型・二圧の場合)

最高使用圧力 被加熱側 (内缶) MP a
熱源側 (外缶) MP a
蒸気発生器 MP a

内容積 被加熱側 (内缶) m³
熱源側 (外缶) m³
蒸気発生器 m³
合 計 m³

設置場所.....号機

取扱作業主任者 氏名.....

事業所名.....

圧力容器定期自主検査記録の使用方法

1. 検査した結果、異常が認められるときは、「異常の有無」欄の「有」に○をつけます。
異常の内容は「状態・措置」の欄に記入します。
2. 上記の「異常」について措置を講じたときは、その日付及び措置内容を「状態・措置」の欄に記入します。
3. 検査した結果、異常が認められないときは、「異常の有無」欄の「無」に○をつけます。
4. 検査の実施者は検査実施者欄へ署名します。取扱作業主任者以外の者が検査を実施した場合、取扱作業主任者は検査結果が適切であるかどうかを確認し、調査欄に署名します。
5. 事業者は、定期自主検査が適性に行われていることを承認し承認欄に署名、3年間の保管を指示します。

定期自主検査記録

検査年月日 年 月 日		検査実施者		調査	承認
点検項目	点検内容	異常の有無		状態・措置	
本体	胴の割れ、損傷、漏れ、変形、腐食等	有	無		
	扉及び鏡板の割れ、損傷、漏れ、変形、腐食等	有	無		
	缶体ノズルの割れ、損傷、漏れ、変形、腐食等	有	無		
	缶体外装(保温ケーシング)の変形、変色、亀裂、腐食等	有	無		
	内缶表面に著しい汚れ	有	無		
扉締め付け部	扉締め付けボルトの損傷、腐食、曲がり、汚れ、緩み等	有	無		
	扉締め付け機構部の機能	有	無		
	扉締め付け機構部の損傷、変形、汚れ、緩み等	有	無		
	扉パッキン及びパッキン溝の損傷、変形、キズ、汚れ等	有	無		
架台	架台類の変形、腐食、振動、損傷等	有	無		
据付状況	アンカーボルトの腐食、変形、損傷、緩み等	有	無		
安全装置	安全弁の漏れ、損傷、腐食等	有	無		
	扉開閉に関する注意表示のはがれ、変色等	有	無		
配管関係	配管及び弁に漏れ、漏れ跡、腐食、損傷等	有	無		
計器関係	圧力計の“ゼロ”指針	有	無		
	圧力計・温度計・液面計等の損傷、腐食、漏れ、汚れ等	有	無		
	記録計の機能、印字不足	有	無		
回転機器（ポンプ類）	真空ポンプの損傷、腐食、漏れ、異音等	有	無		
	エアコンプレッサの損傷、腐食、漏れ、異音等	有	無		
	エアコンプレッサのドレン抜き実施状況	有	無		